

青少年調査結果①

◇ 幼少期から中学生期までの体験が多い高校生ほど、思いやり、やる気、人間関係能力等の資質・能力が高い。

【青少年調査(高2結果)】

高校2年生の結果を用いクロス集計を行ったところ、幼少期から中学生期までに「動植物とのかかわり」、「地域活動」、「家事手伝い」等の体験が豊富な高校生ほど、「友だちがとても幸せな体験をしたことを知ったら、私までうれしくなる」といった「共生感」、「経験したことの無いことには何でもチャレンジしてみたい」といった「意欲・関心」、「けんかをした友だちを仲直りさせることができる」といった「人間関係能力」が高い。

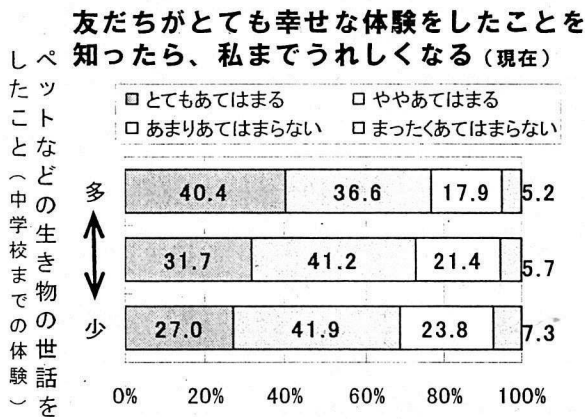


図 4-3-①-8

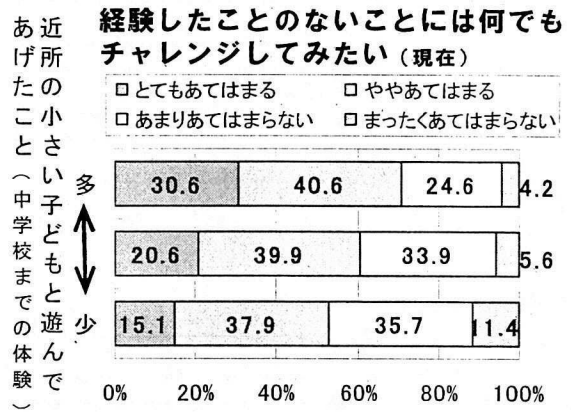


図 4-3-①-16

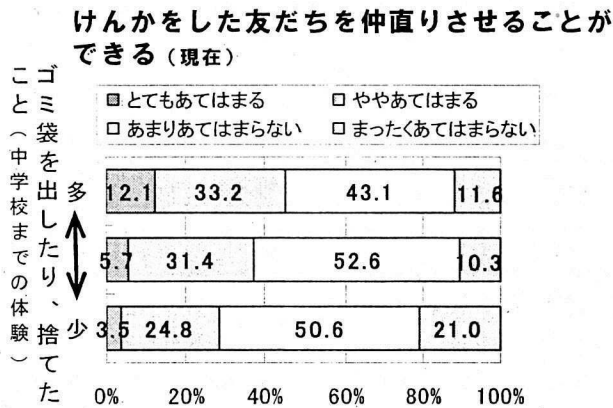


図 4-3-①-33

【共生感】

- ・休みの日は自然の中で過ごすことが好きである
- ・動物園や水族館などに行くのが好きである
- ・悲しい体験をした人の話を聞くとつらくなる
- ・友だちがとても幸せな体験をしたことを知ったら、私までうれしくなる
- ・人から無視されている人のことが心配になる

【意欲・関心】

- ・もっと深く学んでみたいことがある
- ・なんでも最後までやり遂げたい
- ・経験したことの無いことには何でもチャレンジしてみたい
- ・分からないことはそのままにしないで調べたい
- ・いろいろな国に行ってみたい

【人間関係能力】

- ・人前でも緊張せずに自己紹介ができる
- ・けんかをした友達を仲直りさせることができる
- ・近所の人に挨拶ができる
- ・初めて会った人とでもすぐに話ができる
- ・友だちに相談されることがよくある

◇ 体験が豊富な子どもほど、携帯電話を持っている・読む本の冊数が多い、という割合が高い。また、コンピューターゲームやテレビゲーム遊びをしない、という割合が高い。

【青少年調査】

クロス集計の結果、幼少期から現在までの体験が豊富な子どもほど、携帯電話を所持する割合が高く、1ヶ月に読む本の冊数が増える傾向がみられる。

携帯電話を持っている子どもの割合

〔小学校 5 年生〕

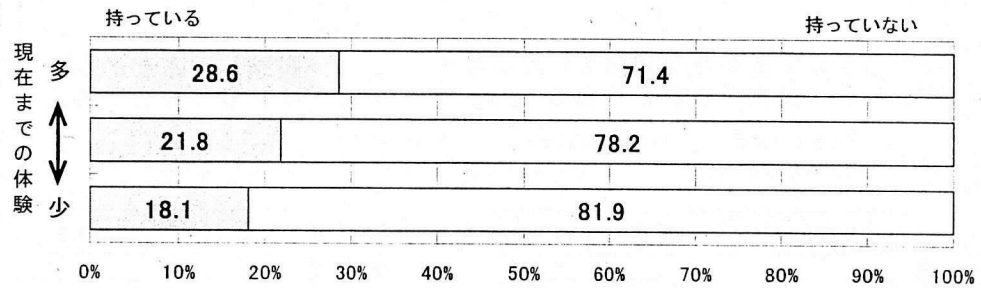


図 4-5-①-1

〔小学校 6 年生〕

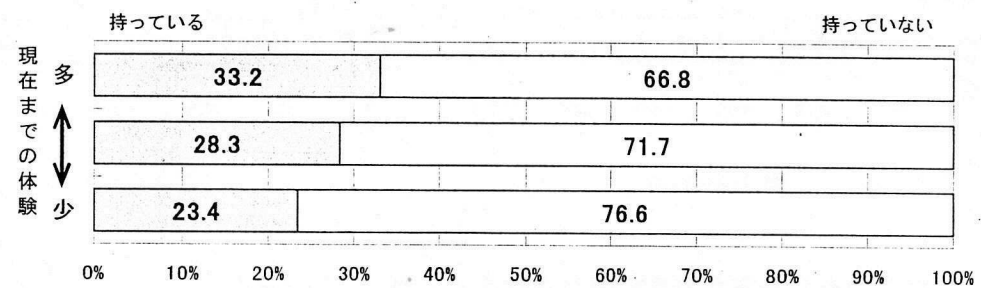


図 4-5-①-2

〔中学 2 年生〕

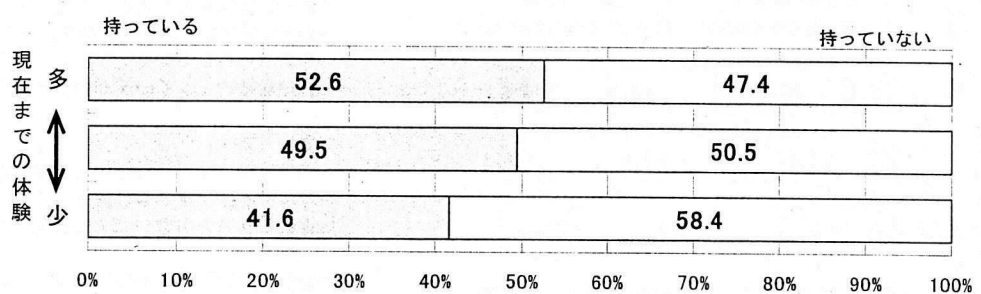


図 4-5-①-3

〔高校 2 年生〕

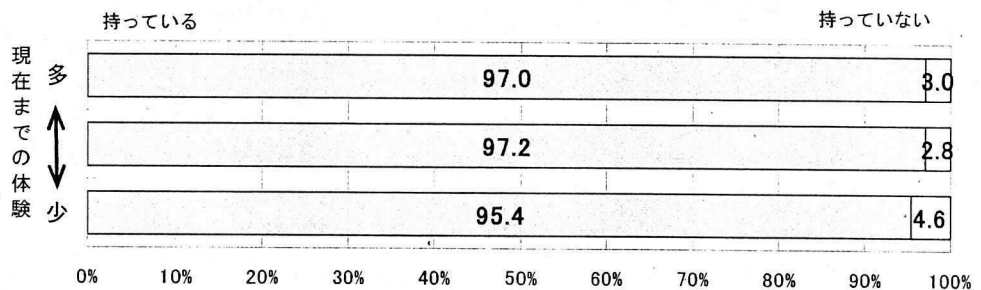


図 4-5-①-4

1ヶ月に読む本の冊数

[小学校5年生]

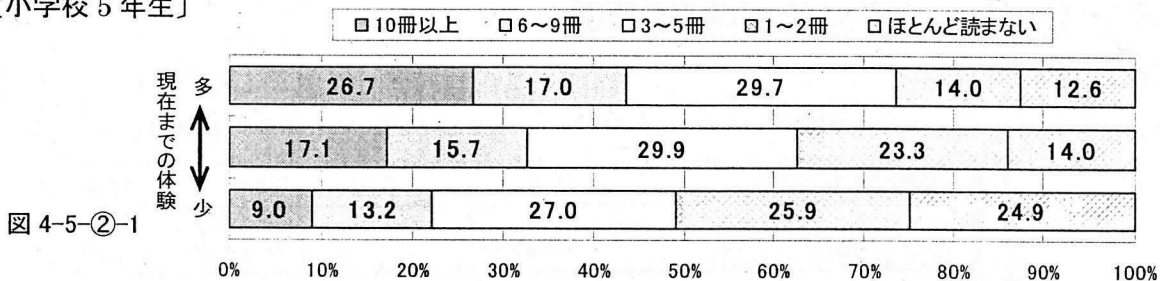


図 4-5-②-1

[小学校6年生]

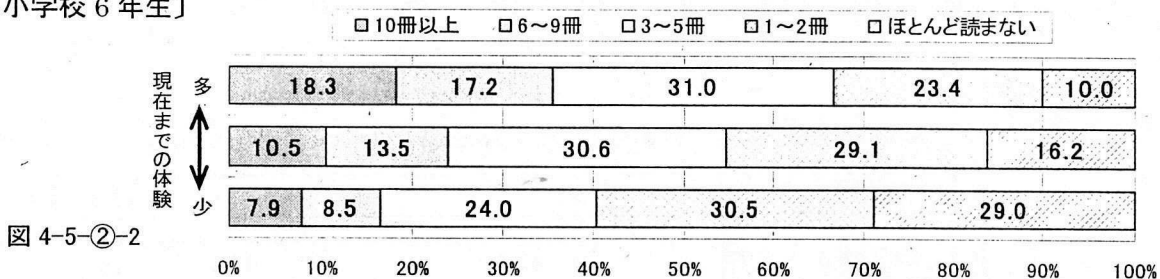


図 4-5-②-2

[中学2年生]

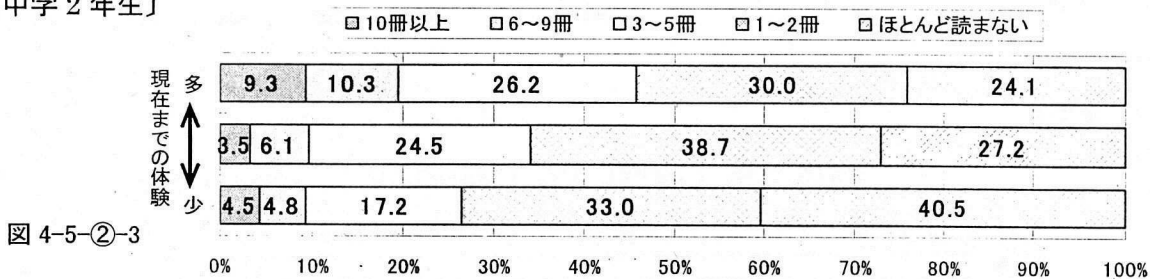


図 4-5-②-3

[高校2年生]

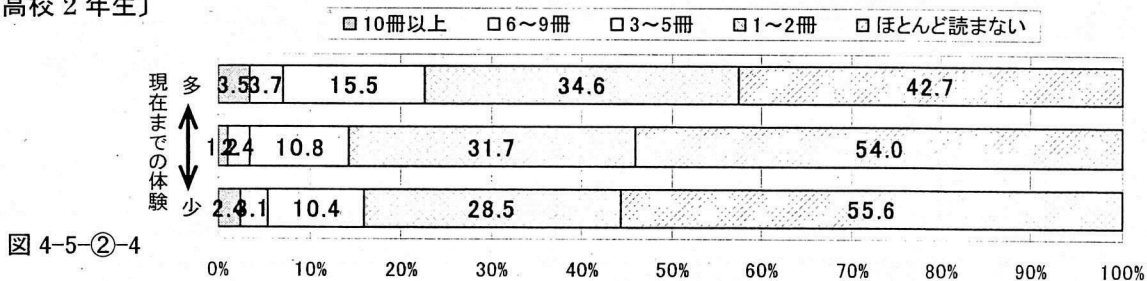


図 4-5-②-4